

施策分析シート（平成23年度）

No1

施策名	創業・起業の支援			施策No	05-03		部課名	産業経済部経営支援課	
							課長名	三枝 直樹	内線 4 4 5
関連部課名									
行政評価事業体系	分野	産業革新都市〔Ⅲ〕							
	政策	活力ある地域経済づくり〔05〕							
目的	区内での創業・起業を促進するため、区内で開業しようとする起業家に対して各種支援策を実施し、産業の活性化を図る。								
指標	施策の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明	
			20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (28年度)		
	①	創業支援融資実行件数	40	27	32	40	50		
	②	起業家支援塾受講者の開業率(%)	11.9	3.5	5.3	6.7	----	塾受講生の開業者数 20年度及び21年度実績	
	③								
	④								
	⑤								
現状と課題 (指標分析)	○景気の低迷や外国製品との競合等による売上高の減少、経営者の高齢化や後継者難等により、事業所数の減少傾向が続いている。一方で、区内での創業・起業は非常に少なく、産業の活力低下が懸念される。 ○区内での創業・起業を促進し、産業活力の再生を図ることが必要である。 (参考) 荒川区内での開業(新設)企業数 ・平成18年：1,825事業所(平成18年事業所・企業統計調査) ・平成16年：768事業所(平成16年事業所・企業統計調査〔簡易調査〕)								
今後の方向性	《今までの成果及び指標分析を踏まえて》 ○区内での創業・起業を支援することは重要であり、「西日暮里スタートアップオフィス(ＮＳＯ)」入居企業の退去後の区内定着率も約60%と高いことから、平成25年3月までの暫定利用となっているＮＳＯについて、その後継施設の整備を検討する必要がある。 ○これを受け、区内での創業しようとする起業家を対象とした「起業家支援塾」とあわせて再構築を図る。								

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	事業所数の減少傾向が続いている一方で、区内での創業・起業が非常に少ない現状を踏まえると、区内での創業・起業を支援することは、区内産業の活性化のためには極めて重要であり、当該施策の優先度は極めて高い。

施策分析シート（平成23年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のた めの分類		分類についての説明・意見等
		21年度	22年度	前年度 設 定	今年度 設 定	
起業家支援育成事業	04-02-07	765	657	推進	改善・ 見直し	起業・創業に対する支援策は区 内産業活性化の観点から重要で あり、平成24年度は本事業を見 直し事業をレベルアップのうえ 実施する。
創業支援施設管理費	04-02-08	10,577	10,835	重点的 に推進	重点的 に推進	創業支援施設等の整備は創業間 もない事業者にとって必要不可 欠な支援策であり、区内産業の 活性化のために極めて重要であ る。
合 計		11,342	11,492			